

啓北

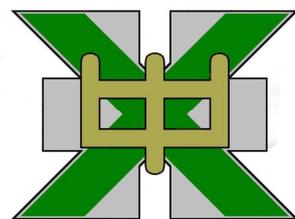
苫小牧市立啓北中学校 学校通信
令和元年12月4日(水)発行

《学校教育目標》

- やり通す
- 協力する
- 前進する

啓北中四本柱

- ・挨拶励行
- ・環境美化
- ・私語撲滅
- ・時間厳守



これからも守り育てたいこと

校長 前田 勝也

12月に入り2学期も残り少なくなりました。これまで様々な事柄に取り組んできた生徒たちが、何を学び、何を身に付けてきたのかを、11月の主な行事を振り返り確かめてみたいと思います。

まず、「やまなみ祭」(11月16日)には、今年も多くの生徒がボランティアで参加してくれました。生徒会執行部や協力を申し出てくれた生徒。また吹奏楽部の演奏もありました。休みの日にも関わらず、力を貸してくれた生徒の姿と保護者、地域の方々の励ましや応援に、分校の生徒たちは「感謝の気持ち」と「行事を成功させた自信」を与てもらいました。本校生徒にとっても、共に時間を過ごすことで「相手の立場に立って、何ができるかを考える」場が持てたことで「心や感性を広げる」機会になったと言えます。

3年生の保護者の皆さんには、受験生となる3年生を激励する「合格祈願の餅つき」(11月22日)を企画して頂きました。「最後まで頑張り抜いてもらいたい」という保護者の「願い」が込められ準備、運営された行事でした。生徒には保護者の想いの温かさを知り「自分たちを見守ってくれる」感謝と気づきにもつながる時間とすることができました。

そして12月1日には、苫小牧市中学生主張発表大会が開催され、2年生の木村マリアさんが参加しました。「私が私になるために」と題した発表では、将来の夢を決めるまでの経緯とそれを叶えるために、学校生活をしっかりと過ごしていきたいという強い気持ちを述べていました。多くの人を前に自らの考えを伝えた貴重な経験も、夢を実現させる大きな力となるでしょう。

このように、様々な経験の積み重ねは、生徒たちを成長させて一人一人の未来にもつながります。では、彼ら彼女らが社会で活躍する頃には、どのような「能力」を必要とするのでしょうか。そのひとつを新聞記事から知ることができました。《AIを開発活用するのは人間だが、それに関する専門的で高度な知識を個人で持っていたとしても、仕事は「チームワーク」で進む。互いに意見を交わし、方向性や解決策を決める「コミュニケーション能力」が、さらに重要になるだろう》行事から生徒が学んだ「協力」「励まし」「伝える力」も、全てがコミュニケーションに結びつきます。これからも人との繋がりや交流を活かす中で、必要とされる力と心を育てる教育活動に取り組ませたいと考えます。



12月の主な予定

- 2日(月) 生活向上週間開始
- 10日(火) 1年参観日・PTAレク
- 11日(水) 2年参観日・PTAレク
- 19日(木) 3年学年末テスト範囲表配布
- 20日(金) 終業式・ALT離任
ほっかいどうチャレンジテスト
- 21日(土) 冬季休業(～1月13日)
- 23日(月) 冬休み学習会(～25日)
2年三者懇談(～25日)

大会の結果

<アイスホッケー部>

第8回東胆振中学校IH選手権大会
兼 第50回北海道中学校IH胆振地区予選大会
合同B 3-6 合同A ●
合同B 1-5 合同C ●
合同B 0-2 和光中 ●
【合同B：啓北・開成・明倫・鶴川中】

<美術部>

第13回アートクラブグランプリ in SAKAI
全国中学校美術部作品展 個人の部

佳作 「花鳥風月」 3年 小林 美咲
佳作 「平熱は37℃」 3年 板坂 麻来
佳作 「青雲の志を抱く」 3年 白鳥 花怜
佳作 「虚偽の果実」 2年 安積 百香
佳作 「未来」 2年 鈴木 優衣

令和2年1月5日～13日、作品写真が堺市立東文化会館文化ホールに展示されます。

11月は

「親子読書」

強調月間です

親子いっしょに
同じ時間、
同じ場所で
読書をしましょう



苫小牧市教育委員会・苫小牧市立中央図書館

後期認証式

11月6日(水)、後期認証式を行いました。1年間頑張ってくれた生徒会役員・各委員長のみなさん、ありがとうございました。新役員・新委員長に選ばれたみなさんの活躍に期待しています。



進路講演会

11月19日(金)、鈴木学氏(前本校教諭)を招いて進路講演会を実施しました。「自分探しの旅がおすすめ」を演題に講演していただき、生徒にとって、改めて自分の目標や将来を考える貴重な機会となりました。



冬期間の交通事故に十分注意を！ 冬期間の「自転車の使用」や「路上での遊び」は大変危険です。また、青信号でも左右を確認し、車が止まったことを確かめてから道路を渡る等、交通事故に遭わないよう、十分に気をつけてください。



↑<11.22餅つき(3年)の様子>

<11.18いじめ問題子どもサ
ミット学校訪問の様子>↓



御家庭での対応

今年に入ってから発生した、不適切な投稿が原因で起った未成年の炎上事案の多くや、女子中学生が自らの裸の画像を投稿してトラブルになった事例は、この「インターネット上に残らない投稿」が起因となっています。トラブルを未然に防ぐためには、「残らない投稿」であってもスクリーンショットなどで簡単に保存することができること、通常の投稿と同様に知らない人も見ることが可能なことなど、安全ではないことを子どもと話し合ってみましょう。

ネットトラブル未然防止のための

総合ヘルプサイト

ネット利用に関わる専門的な相談の窓口です

◎本資料は北海道教育委員会とピットクルー株式会社が令和元年10月に作成したものです。
子どもたちのインターネット利用に関わる相談等がありましたら、下記のURLまでご相談ください。

≪北海道教育委員会ネットトラブル未然防止のための総合ヘルプサイト≫

<https://webreport.pit-crew.co.jp/hokkaido/helpsite/>